

生活単元学習学習指導案

指導者 高木 由希

日時 令和4年11月19日(土) 第2校時 10:25~11:15

年組 中学校 第2学年3組 計5名(男子2名,女子3名)

場所 中学校2年3組教室

単元 東雲ファーム~野菜を育てて届けよう~

単元について

本学級は、知的障害特別支援学級であり、5人の生徒が在籍している。在籍する生徒は、書字や発語に困難を有する生徒から小学校6年生程度の漢字の読み書きができる生徒まで学習面での実態差が大きい。また、生活面においても活動の見通しをもったり他者の気持ちを想像したりできる生徒から、自分の世界を楽しむ生徒まで様々である。入学してからの1年半、5人が相互に関わりあいながら学習活動に取り組み、学級への所属感を抱いて学校生活を送っている様子がみられる。

本単元では、通常学級の生徒や教職員との関わりを広げていくことを目標に野菜の栽培を中心とした学習活動を展開する。通常学級の生徒などの特別支援学級での学びの支えとなる人々の存在に着目し、あたたかい関わりの中で生徒の課題解決の力や活動に継続的に取り組む力、仲間や教師とよりよくかかわろうとする力を伸ばすことができる。4月の単元の導入時には、野菜の栽培目的や収穫した野菜の用途について考えた。「収穫した野菜を通常学級の生徒や先生たちにあげたい」という目的を共有したことで、草抜きや水やりなど野菜を育てる過程での手間のかかる日々の取り組みに意味を見出し、主体的に活動に取り組む姿を引き出すことができた。また、収穫した野菜を通常学級の生徒や教員に配付する活動を通して、人前に立つことへの緊張や不安を抱きながらも、相手が喜ぶ姿を目にして、自分たちの学習の成果を感じる姿も見られている。そこで、冬野菜の栽培では、4月当初の計画をもとにした話し合いで育てる4つの野菜を決めた。加えて、周囲の人の協力をもって成り立つ活動を単元の導入時に設定し、活動への責任感をもつ姿をより引き出していく。自分たちの学びが他者に支えられていることを体感しながら、生徒同士が相互に関わり合い、課題に向かって取り組む姿を期待したい。

指導に当たっては、大根の栽培にペットボトルを加工した「大根プランター」を用いることとし、全校朝会の場でペットボトル回収の呼び掛けやお知らせづくりの活動を行う。目標値の設定や回収したペットボトルの数を数える活動、回収に協力してくれた生徒や教員の名簿の作成を通して、協力してくれた生徒や教員の想いに触れる姿を引き出していく。さらに、うまくいかない時に試行錯誤したり自ら援助を求めたりする力を伸ばすことができるよう、「大根プランター」を自立させるためにつなぎ合わせる活動を設定する。事前に複数の「大根プランター」をつなぎ合わせる方法を生徒と一緒に考える活動を通して、かかわりあいながら課題を解決して行くことができるようにする。作業時には、生徒がお互いの力を合わせながら安心して活動することができるよう、生徒の安全確保を最優先としながらも一定の距離を保ってかかわると共に、めざす子どもの姿が見られた時には、意味付ける言葉掛けを行う。また、生徒自身が学びを蓄積し、実感することができるよう、ICT機器を用いたふりかえりの時間を設定する。

指導目標

- ・野菜の栽培に必要な情報を経験の言語化や文章の読み取りにより、理解することができるようにする。
- ・自分の考えや気づきを適切な方法で他者に伝えることができるようにする。
- ・他者の存在を意識して自分の役割を遂行すると共に、仲間にかかわろうとする態度を育てる。

指導計画（全 40 時間）

次	時	学習内容
1	1	東雲ファームの計画を立てよう ・育てる野菜を決めよう～4月の計画をもとに育てる野菜を決めよう～
2	2	もやしを育てよう ・育て方を調べよう
	3～4	・もやしを育てよう（種まき，観察）
	5	・もやしを収穫してプレゼントしよう
3	6	いちごを育てよう ・育て方を調べよう ・いちごの苗の数を決めよう～プランターの幅と苗植えの間隔を計算しよう～
	7	・苗の買い物，土づくり
	8, 9	・いちごを植えよう（苗植え，観察）
4	10	大根を育てよう ・育て方を調べよう，大根を育てる方法を知ろう
	11	・ペットボトル集めの準備をしよう～発表原稿とお知らせを作ろう～
	12～19	・ペットボトルを「大根プランター」にしよう（本時）
	20	・大根を植えよう（種まき，観察）
	21～25	・大根を育てよう（間引き，観察）
	25～29	・収穫しよう ・大根を配りに行こう
5	30	ほうれん草を育てよう ・育て方を調べよう
	31	・土づくり
	32	・ほうれん草を植えよう（種まき，観察）
	33～35	・ほうれん草を育てよう（間引き，観察）
	36～39	・収穫をしよう
6	40	ふりかえりをしよう

本時の目標

1. 「大根プランター」をつなぎあわせる方法を理解し，仲間とかかわりあいながら活動することができる。
2. 作業を通じて考えたことや感じたことをふりかえり，表現することができる。

本時にかかわる生徒の実態と個別の目標，支援，評価規準

生徒	実態	目標	目標達成のための支援	評価規準
A	伝えたいことが言葉足らずで正しく相手に伝わらないことがある。作業の難しさを感じた際，仲間に援助を求めることが増えている。	作業行程やポイントを理解し，相手に正しく伝えるように表現することができる。	・前時の活動を振り返る時間を設定する。 ・相手にわかりやすく伝えようとする姿を称賛する。	主語や述語を意識し，作業のポイントや力を借りたい内容を具体的に表現している。

B	作業や手順の意図を理解することができる。淡々と活動することを好み、受け身になることが多く、自分から仲間に関わりに行くことは少ない。	相手に応じて関わり方を工夫しながら、作業を進めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の生徒で力を合わせることで成り立つ学習活動を設定する。 ・関わり方の工夫の具体や役割分担について提案する。 	手本を見せるなど言葉のみの説明以外の方法で仲間にかかわろうとしている。
C	繰り返しの活動により作業工程を理解することができる。仲間の存在を意識し、細かな部分も丁寧に活動することができる。	作業工程を理解し、仲間からの言葉掛けを受けて、一緒に活動することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の生徒で力を合わせることで成り立つ学習活動を設定する。 ・作業工程を視覚的に示す。 	作業工程を理解し、仲間が作業をしている様子や言葉掛けに着目している。
D	指先を使う細かい作業は苦手であり、活動参加への意欲はその時の気分により左右されやすい。繰り返し活動することで作業工程を理解することができる。	自分のできる行程を仲間に伝え、活動に参加することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・できそうなことと難しいことを尋ねる。 ・作業工程を端的な言葉で視覚的に示す。 	自分の得意なことやできる活動を相手に伝える適切な言葉や身振り手振りで表現している。
E	作業や手順の意図を理解し、見通しをもって周囲を気遣いながら活動することができる。苦手な作業については援助を求めることができる。	仲間の得意な作業を活かした役割分担を提案したり任せたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・関わり方の工夫の具体や役割分担について提案する。 ・仲間にかかわろうとする姿を称賛する。 	仲間の良さや得意なことを理解し、相手に伝える言葉掛けや表現方法を選択している。

「教科等本来の魅力に迫るための教員の資質・能力」との関連

本実践では、知的障害教育の魅力に迫る教員の資質能力として、①生活と結びつきのある指導内容の設定と②意欲を育てる工夫の2点について提案する。【授業構想力】

①生活との結びつきのある指導内容の設定

本学級の生徒は、日々の学校生活において縦割り活動などを中心に通常学級の生徒と生活を共にしている。教科等の学習における交流の機会が少ないために限定的なかかわりとなっている部分もあるが、友達ができた喜びや助けてもらった感謝の気持ちを表現することも多い。そこで、本学級の生徒にとっての「生活」を通常学級の生徒や教員とのかかわりを軸にして捉え、生活単元学習の単元づくりに取り組んだ。これにより、それぞれの活動が他者を意識したより必然性のあるものになると共に、校内に向けて知的障害のある生徒の学びの様子を発信していくことにもつながると考える。

②意欲を育てる工夫

本学級では、1年時に学級内での活動を主として、めいっぱい活動を楽しみながら、自分の状態や気持ちを適切に捉えたり集団で気持ちよく過ごしたりする方法を学んできた。同時に、周囲の言葉掛けにより自分たちの学習が学校の役に立っていることを感じられるよう単元を展開してきた。そこで2年時では、活動の場を学級外に広げ、他者に取り組みが伝わる活動を中心として単元を展開している。学年を追って、少しずつ活動を変化させながら、人の役に立つ喜びや成功体験を積み重ねることにより、多少の難しさを感じる活動であっても意欲的に取り組む姿を引き出すことができると考える。

学習の展開

学習活動と内容	○指導上の留意点（◆評価）
<p>1 あいさつをする（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の活動内容を確認する 活動チームを確認する <p>チーム1：A・B・D チーム2：C・E</p>	<p>○前を向いて姿勢を整えることができるよう、教師がモデルを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の見通しが持てるよう、活動内容を生徒の言葉で確認する。
<p>2 今日の協力ポイントと成功ポイントを考え、交流する（8分）</p> <ul style="list-style-type: none"> おさえるときに「一緒に持って」と言う 難しい時には「お願いします」と言う ペットボトルをセロハンテープで仮止めする ひもを結ぶときは、ぎゅっと固くする 	<p>○前時の活動をふりかえり、作業の改善点を発表することができるよう、前時の気づきを促し、共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動時に生徒がポイントを確認することができるよう、生徒の発言を板書する。 <p>◆作業のポイントを理解している。</p>
<p>3 「大根プランター」をつなぎあわせる（22分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な物品を用意する 同じ高さの「大根プランター」を選ぶ 6つの「大根プランター」をビニルひもでくくり、つなぎ合わせる 自立するかを確認する 	<p>○生徒が仲間とかかわりあいながら作業することができるよう、取り組みの様子について称賛したり、仲間とのかかわりを促したりする。</p> <p>◆作業の手順を理解して活動している。</p> <p>◆友達に声を掛け、かかわりあいながら取り組んでいる。</p>
<p>4 ふりかえりをする。（17分）</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットを用いて、3点について振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ①今日の活動 ②今日のきもち（選択） ③考えたことや思ったこと（記述） 次時の予告をする。 	<p>○本時の学びを振り返り、記録をすることができるよう、十分な活動時間を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> より具体的に活動を振り返ることができるよう、「もう少し詳しく」や「どんな感じ？」と言葉掛けをする。 <p>◆活動をふりかえり、自分の取り組みや仲間の良い姿を表現することができる。</p>
<p>6 あいさつをする。（1分）</p>	<p>○前を向いて姿勢を整えることができるよう、教師がモデルを示す。</p>

活動構成図

